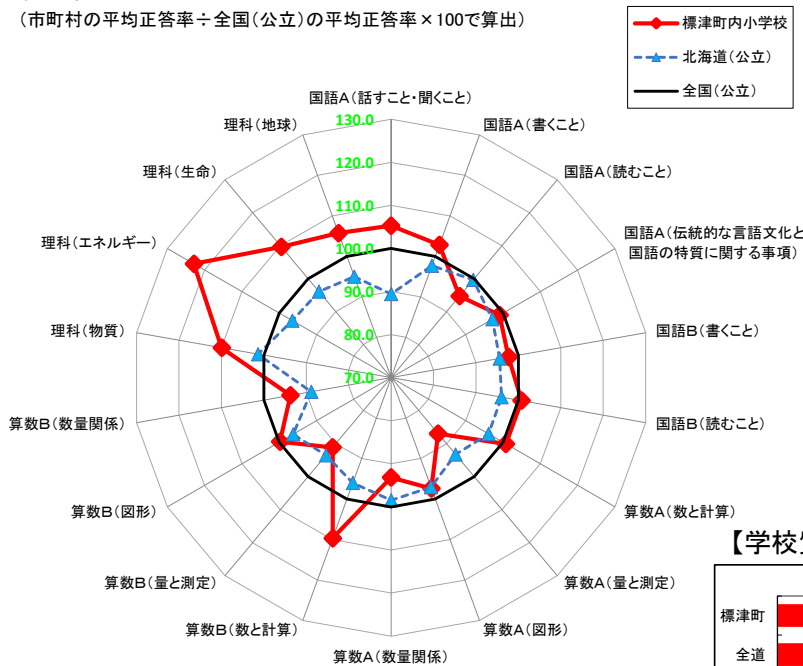


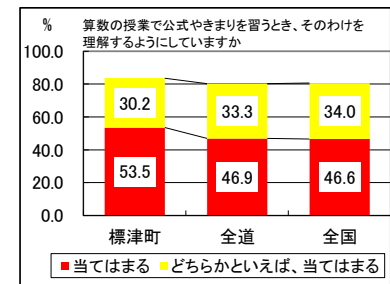
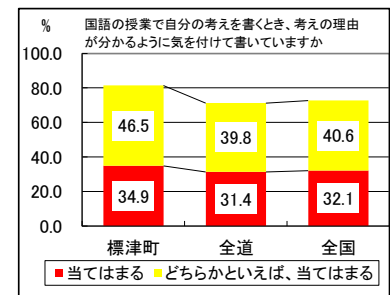
# ■ 標津町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2、児童数:43名)

## 【教科全体の状況】

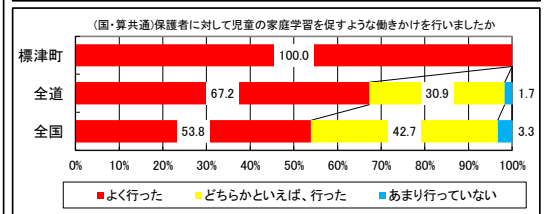
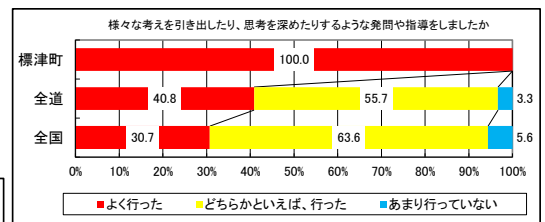
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



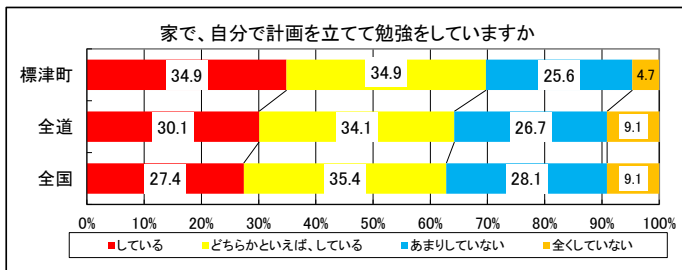
## 【児童質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【児童質問紙調査】



## 【分析】

教科	○ 国語Aでは「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、Bでは「読むこと」、算数A、Bでは「数と計算」、理科では全ての領域で全国及び全道を上回っている。	○ 各学校で様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導等を充実したことにより、思考力・判断力・表現力が高まりつつある。
児童質問紙	○ 国語の授業で自分の考えを書きとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている、算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていると回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 家で、自分で計画を立てて勉強していると回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけ等を行ったことにより、自ら計画を立てて勉強している児童の割合が全国及び全道を上回るなど、家庭学習の習慣が定着しつつある。
学校質問紙	○ 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導を「よく行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 保護者に対して児童の家庭学習を促す働きかけを「よく行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

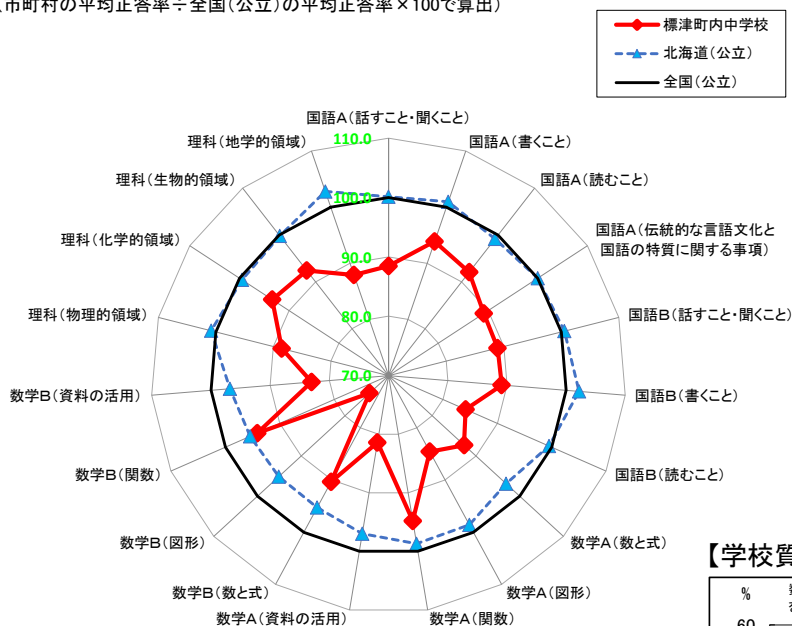
## 【標津町の学力向上策】

- ◎ 子どもの主体性を培うための「標津型学習スタイル」に基づいた授業づくりの推進
- ◎ 授業改善推進チームの活用と定期的な研究協議会の開催
- ◎ 秋田県への視察及び秋田県の教師を招聘しての授業参観等、教師の指導力向上を目指した研修の充実
- ◎ 「分かる授業」のための実物投影機やタブレット等を活用したICT教育の推進
- ◎ 学習習慣や基礎学力の定着、学習意欲の向上のための「学びサポート教室」の実施

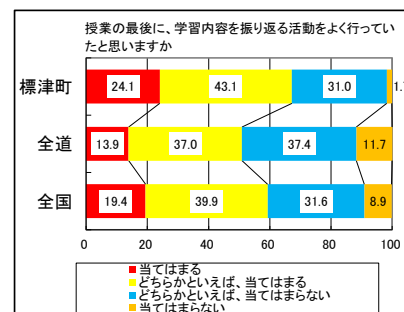
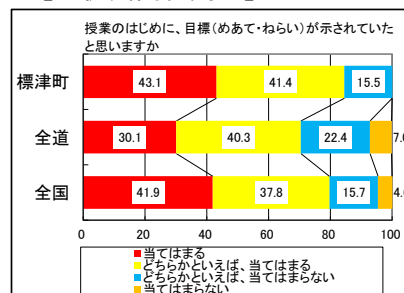
# ■ 標津町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2、生徒数:55名)

## 【教科全体の状況】

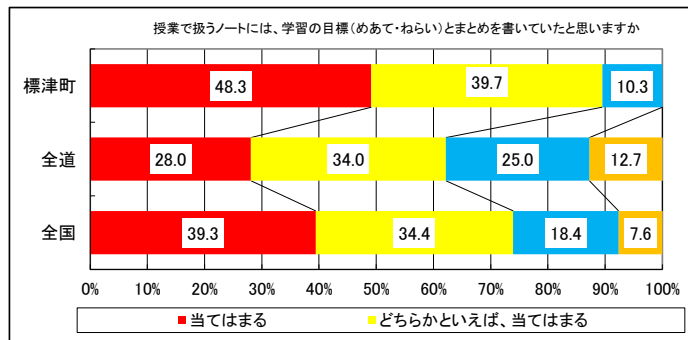
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



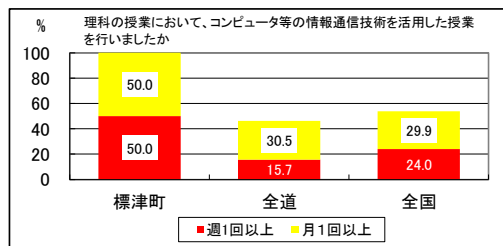
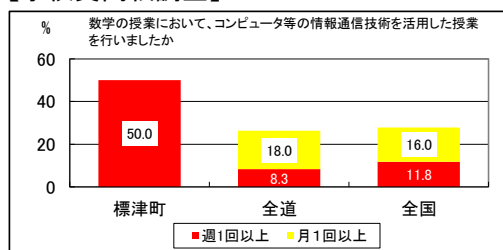
## 【生徒質問紙調査】



## 【生徒質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	○ 数学Bでは「関数」で全道とほぼ同様になっている。	○ 各学校でコンピュータ等の情報通信技術を活用した授業等を充実したことにより、生徒の学習意欲が高まりつつある。
生徒質問紙	○ 授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されていた、授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)を示したり、授業の最後に、学習内容を振り返る活動を行ったりすることにより、ノートに学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書く生徒が増え、見通しをもって学習に取り組んだり、学習内容を振り返ったりすることができるようになるなど、日常の授業改善が図られつつある。
学校質問紙	○ 数学や理科の授業において、コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業を「週1回以上行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

## 【標津町の学力向上策】

- ◎ 子どもの主体性を培うための「標津型学習スタイル」に基づいた授業づくりの推進
- ◎ 秋田県への視察及び秋田県の教師を招聘しての授業参観等、教師の指導力向上を目指した研修の充実
- ◎ 「分かる授業」のための実物投影机やタブレット等を活用したICT教育の推進
- ◎ 学習習慣や基礎学力の定着、学習意欲の向上のための「学びサポート教室」の実施